

イスラエル・ユダヤ・中東がわかる隔月刊雑誌

# みるこす

No.186

2

2023

❖ 目からウロコの新約聖書  
使徒言行録の結語  
藤原豊樹



❖ 一つの神と三つの宗教  
宗教の普遍性と世俗性  
塩尻和子



一面に咲き乱れるアネモネ（イスラエル西部ベエリ ©平岡真一郎）

春めぐり来て 世界に幸福あり  
生きとし生けるものなべて沙漠を慕う



ミルトスはイスラエルに育つ低木。常緑でその葉は芳香を放ち不死と成功の象徴とされた。(イザヤ 41:19)

## ■ 中東・イスラエル情報

■イスラエル並びにユダヤ人に関するノート■

日米メディアにおける分析力の差 —— 佐藤 優 5

■イスラエル 多角多論■

第6次ネタニヤフ政権の発足 —— 齋藤真言 13

■日本の非常識からみた中東の非常識■

激変する国際関係 —— 滝川義人 22

■日本・イスラエル コラボレーションの道■

フードテック分野での日・イコラボレーション —— 新井 均 26

## ● 聖書・歴史

●目からウロコの新約聖書●

使徒言行録の結語 —— 藤原豊樹 42

●サムエル記講話●

すべては神の御手の中で —— ラビ・ベニー・ラウ 52

●一つの神と三つの宗教●

宗教の普遍性と世俗性 —— 塩尻和子 63

## ▲ エッセイ

▲聖書の世界 エッセイ▲

アネモネ —— 池田 裕 34

▲知っておきたい中東・イスラム▲

エルアル航空 日本就航への道(下) —— 光永光翼 58

▲イスラエル御馳走帖▲

クッベ —— 越出水月 72

▲書評▲

イスラエル人

ISRAELIのビジネス文化 —— 宮崎正弘 78

表紙の絵:「ヤコブは祭壇を築いて『エル・エロヘ・イスラエル』と呼んだ」(シエケム、テル・バラータ、創 33:20)【画・藤井克之】

ユダヤのユーモア 4 教えて!ヘブライ語 49 ブックレビュー 76

声のひろば 80 編集後記 82



## 日米メディアにおける

# 分析力の差

### 日本メディアに欠けている点

Z君、去年（2022年）12月にイスラエルでネタニヤフ政権が成立しました。『みるとす』誌の前回連載（2022年12月号「ネタニヤフ論文を読む」）で詳しく紹介しましたが、ネタニヤフ氏は優れた戦略家です。しかし、日本の報道を見ると極右政治家の影響下にある危険な政治家との印象を受けま

す。イスラエルに関しては、比較的バランスがとれた論調の「日本経済新聞」ですら、こんな報道をしています。

〔カイロ―久門武史〕イスラエル国会は29日、ネタニヤフ元首相が樹立した新政権を承認した。1年半ぶりに首相に復帰したネタニヤフ氏の連立政権は極右・宗教政党が加わり、史上最も右寄りの政権になる。発足に先立ち、イスラ

エルが占領するヨルダン川西岸でユダヤ人入植地を拡大する方針を打ち出した。

ネタニヤフ氏は同日、国会での演説で「統治と平穏、市民の安全を取り戻す」と述べた。現地報道によると28日に公表した新政権の指針は、ヨルダン川西岸や、シリアから奪ったゴラン高原などで「政府は入植を促進する」と宣言した。「ユダヤ人はイスラエルの



〔撮影：森清〕

佐藤 優

## 第6次ネタニヤフ 政権の発足

齋藤真言

### 船出した新政府

イスラエルは今、国の在り方が大きく変わろうとしている。昨年12月29日の夕方、国会クネセトでは11月1日の選挙結果を受けて新たな国会議長長の選任投票が行なわれていた。議長には第5次ネタニヤフ政権で法務相を務めたヘリクードヘリクードのアミール・オハナ氏が推薦され、賛成63票の過半数を獲得して国会議長に選任された。

議長としての初演説を始めると、一部のハレディーム（ユダヤ教超正統派）系議員は顔を背けた。ユダヤ教の戒律では同性愛が禁じられているのだが、オハナ氏はゲイであることを公表している、同性愛者が国会議長に選任されるのはクネセト史上初の出来事なのである。

ハレディーム系議員のそうした態度をもとめず、オハナ新議長は演説を続けた。その中で、主権はあくまで国民にあり、人権や個人の自

由が守られることを性的マイノリティの立場から強調した。

民主主義の象徴である国会において、国民から信任を得た議員の中からオハナ氏が議長に選出されたことの意味は大きい。保守的な宗教政党が大きな影響力を持つ新政権下ではなおさらのことであり、イスラエルという国がリベラルで多様性を重視する国であることを証明しているとも言える。一方で下野した前政権政党内からは、これから新政権が行なおうとする保守的な改革を覆い隠すための「イチジクの葉」に過ぎないとの批判の声も挙がっている。

オハナ氏に続き、約1年半半ぶりに首相へ返り咲いたネタニヤフ氏が演壇に登り、次のように語った。

「私たちの最初の任務は、全世界を脅かす核兵器の開発を進めるイランの企てを阻止することです。そして

日本の非常識からみた中東の非常識

# 激変する国際関係

——思考停止の状況不適應者

滝川義人

## ○西岸地区でのテロ増加

昨年12月はハマスの創立35周年で、ガザのほかウエストバンクの大学を中心に、イスラエル打倒を呼号する闘争デモが実施された。12月11日、東エルサレム郊外のアル・クードス大学では、ハマスの学生組織イスラムブロックが子供たちを連れて覆面パレードをやった。

ハマスのエルサレム問題担当スポークスマン、ムハンマド・ハマダは、「抵抗として戦闘の目的は、川から海までパレスチナ全域の解放とエルサレムの回復にあり」、「死して大義に殉じた英雄的先人たちに続け」と檄をとばした。

最近、ウエストバンク発進のパレスチナテロが増えている。ナブルスには「師子の洞穴」、ジェニンには

「ジェニン大隊」という新しい戦闘組織が作られており、前述のパレードにはこの2つの組織も参加した。イスラエルニュース等によると、パレスチナテロにより昨年1年で31人のイスラエル人が殺害された。国防軍と警察コマンド隊は、この1年間で500件近いテロを未然に阻止したという。

## ○かつての激戦地での協力

昨年12月アジアで、筆者には感慨深い出来事があった。同月6日航空自衛隊のF15戦闘機2機とC2輸送機1機が、フィリピンのクラークフィールド基地に到着したのである。日本にとって因縁の地——第二次世界大戦時、日米両軍が激闘し、数々の悲劇を生んだフィリピンへ、自衛隊機が飛んだ。

\*

# フードテック分野での 日・イコラボレーション

——味の素社がスーパーミート社へ出資

新井 均

## 人口増に伴う様々な環境問題

近年、フィンテック、ヘルステック、アグリテックなど、様々な分野での「○○テック」が花盛りである。食の分野も例外ではなく、フードテック分野には多くの企業が参入しているが、その背景には世界人口の増加に伴う社会課題がある。国連によれば、2022年11月15日に世界の人口は80億人となり、2050年には97億人に達すると試算されている。

世界食糧農業機関（FAO）は、

今後の人口増加および経済成長に伴う1人あたりの畜肉消費量の増加により、2010年から2050年にかけて世界全体の畜肉消費量が1.7倍、特に開発途上国では2倍以上に増加すると予測している。この需要を満たすための畜産は容易ではない。農林水産省によれば、畜肉1kgの生産に必要な穀物の量は牛肉で11kg、豚肉で6kg、鶏肉で4kgである。現在でも世界のとうもろこし消費量

の約60%、小麦消費量の20%はこれらの飼料用なのである。

しかし、地球温暖化の影響から、収穫面積や面積あたりの収穫量が増やせなくなる可能性も指摘されており、畜産の拡大は人間の穀物不足の要因ともなる。また、畜産は温室効果ガスである二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素を排出する。その排出量は、温室効果ガス全体の14.5%を占める。動物の腸内で発生するメタンガス、飼料作物の栽培に使う

# アネモネ

池田 裕

## ●復活の花

見よ、冬すでに過ぎ

雨も止みてはや去りぬ

もろもろの花は地にあらわれ

鳥のさえずる時すでに至り

山鳩の声われらの地にきこゆ

無花果いちじくの実はその青き実を赤らめ

葡萄ぶどうの樹は花咲きてかぐわしき香気を放つ

(雅歌2・11～13)

聖書の生まれた地パレスチナの1年は大きく雨季と乾季に分かれる。雨季が冬で、乾季が夏。聖書に冬および夏を表す語は登場するが、春あるいは秋を直接に指す語は見当たらない。しかし、人びとは雨季から乾季に、また乾季から雨季に代わる移行期の自然の変化にそれぞれ春、秋の到来と存在をはっきり目で確かめ体感していた。雅歌の詩人の言葉でいえば、「雨も止みてはや去りぬ」は、言い換えれば「春来たりぬ」である。

パレスチナの大地が春を迎えるときの情景は美しく、特に荒野におけるそれはまことに劇的である。2月の終わりから3月にかけての時期、それまで1年のほとんどの間、からからに乾ききった不毛な茶褐色の空間としてしか人の目に映らなかつた南部の広大な荒野までが淡い



# 使徒言行録の結語

藤原豊樹

## ○旧約聖書の引用

日本における聖書の翻訳は、その翻訳者が属している教会の信条に沿って行なわれてきました。新約聖書の全書を日本で初めて訳したのはN・ブラウン（1807～86年）ですが、彼はバプテスト教会の宣教師でした。1874年（明治7年）、プロテスタント宣教師た

ちによって共同で聖書翻訳を目指す委員会が設立されると、彼はその委員の1人になりました。ところが「バプテスマ」の訳語を「洗礼」ではなく「しづめ」にすべきことを主張して、他の委員と意見が合わず委員を辞任したというのは有名な話です。

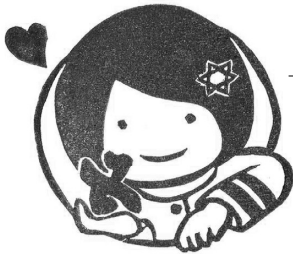
私が聖書（口語訳）を読み始めた時、この「バプテスマ」のよう

なキリスト教用語に大変戸惑いました。またキリスト教界の伝統的な解釈が訳の所々にあり、特に旧約聖書の引用とその解釈がよく理解できませんでした。例えば「使徒言行録」の結語（28・25～28）です。（聖書の引用は新共同訳）

彼ら（ユダヤ人たち）が互いに意見が一致しないまま、立ち去ろうとしたとき、パウロはひと言次のように言った。

「聖霊は、預言者イザヤを通して、実に正しくあなたがたの先祖に、語られました。

『この民のところへ行つて言え。あなたたちは聞くには聞くが、決して理解せず、見るには見るが、決して認めない。この民の心は鈍り、耳は遠くなり、目は閉じてしまった。こうして、彼らは目で見ることなく、耳で聞くことなく、



Q.31

## 目からウロコの イザヤ書6章10節

スタンブアート：  
〈ごっどもみるく〉  
GOD MILK

みさとさんの素朴な疑問に、ヘブライ語のオゼル先生が答えるコーナー

**みさと** 先生、前頁の「目からウロコの新約聖書」は、ホントに目からウロコでした。

**オゼル先生** 確かに、聖書を正しく理解するには、原語であるヘブライ語やギリシア語は重要ですね。

**み** 使徒言行録 28:25~28 は主にイザヤ書 6:9~10 からの引用だそうですが、ヘブライ語の原文がどうなっているのか気になります。

**先** まず、新共同訳を見てみましょう。

主は言われた。

「行け、この民に言うがよい

よく聞け、しかし理解するな

よく見よ、しかし悟るな、と。

この民の心をかたくなにし

耳を鈍く、目を暗くせよ。

目で見ることなく、耳で聞くことなく

その心で理解することなく

悔い改めていやされること

のないために。」(イザヤ 6:9~10)

**み** ああ～、やっぱりイザヤ書も同じように訳されているんですね。ヘブライ語では「目からウロコ」で指摘され

ているように、「そうでないと、彼らは目で見、耳で聞き、心で理解し、立ち帰るかもしれない。そうすると、わたしは彼らをいやすことになる」とは読めないのでしょうか。

**先** ではイザヤ 6:9~10 をヘブライ語対訳で見てください(次頁参照)。問題は10節の後半です。原文は **לֹא**〈ペン〉で始まっています。「～ことのないように」といった否定的なニュアンスを持つ接続詞です。その後に「その目で見ることなく」「そしてその耳で聞く」と続いています。ここで注目したいのは、「で」と訳されている前置詞 **בְּ**〈ベ〉です。この前置詞には多くの意味がありますが、ここでは「～で、～によって、～を用いて」という手段の意味で使われています。それを〈ペン〉で否定していて、原文で「彼」となっている主語は文脈から「民」と理解し、「民がその目で見ることのないように」、「そして民がその耳で聞くことのないように」となっているわけです。

しかし、その後に「その心で理解することなく」(新共同訳)と訳されてい

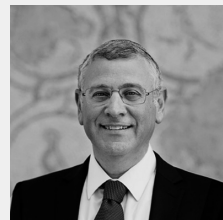
サムエル記講話

《サムエル記上 22章》

すべては神の御手の中で

ベニー・ラウ

(那須雄二訳)



הרב בני לאו

●底辺者の首領に

ダビデの逃避行は続きます。21章ではガトの王アキシユのところで気が触れたように装い、追い出されました。22章でダビデはそこを出て、アドラムの洞穴に逃げ込みました。そこはユダ族の領地内の低地で、ベツレヘムから遠くないところです。ダビデはそこから行ってアドラムの洞穴に避難した。彼の兄弟や父の家のすべての者はそれを聞き、彼のところにそこへ下った。(1節)

ダビデには当初、少数の若者のみが付き従っていましたが、アドラムの洞穴に来た時、ダビデの周りには彼の兄弟たちや仲間が集まってきました。ダビデと生涯行動を共にした強情なツェルヤの息子たちヨアブやアサヘルも一緒でした。

困窮している者、債権者のある者、そしてすべての魂の苦しむ者が彼のところに集まった。そしてダビデは彼らの上に首領になった。約400人の者が彼と共にいた。(2節)

聖書の中で最初に「アドモニ」(血

気盛んな野生人の意)と言われたエサウは、同様に400人を引き連れてヤコブに向かって来ました(創世記33・1)。その時ヤコブは、今にも一戦を交えることになるのではないかと非常に恐れました。

聖書で2人目の「アドモニ」であるダビデが率いたのは、どのような人たちだったのでしょうか。困窮している者、借金が返せない者、苦難に打ちひしがれた者、社会の底辺にいる者、生活の戦いに敗れた者たちです。このような人たちが、カリスマ的なダビデのもとに集まってきま

## エルアル航空

### 日本就航への道(下)

光永光翼

#### 世界に開かれた空

1989年末にソ連の崩壊により冷戦が終結し、91年に湾岸危機が終わりを迎えたことで、90年代のイスラエルの航空事情は大きく変わった。エルアル航空はアジア地域に航路を広げ、北京、バンコク、香港と次々に定期直行便を就航させていった。

93年、私はイスラエルとエジプトの留学を終えて帰国し、旅行手

配会社に就職した。その頃オスロの兆しが見え始め、イスラエルへの渡航者が激増して仕事も忙しくなった。94年にはイスラエル・ヨルダン平和条約が結ばれ、両国を結ぶ3つの国境が開かれた。

皇太子徳仁親王殿下(今上天皇)が95年にご夫妻でヨルダンを行啓されたことも大きかった。テレビの旅番組でイスラエルが取り上げられることも多くなり、死海のコ

スメが注目され、若い世代が中東に足を運ぶようになった。またイスラエルからも多くの人がアジアに旅行するようになり、タイのバンコク便は週7便となり、ジャンボ機を使っても常に満席状態になるほどの人気となった。

エルアル航空はこの頃、国営から民営へと転身するべく舵を切り始め、赤字経営から黒字に転じるような様々な試みを行なった。世界のユダヤ人をイスラエルに帰還させる使命だけではなく、国として豊かになりつつあった当時、旅行者やビジネスマンをより多く安全に運ぶことが次の目標となった。各国との航空協定が結ばれ、様々な航空会社がテルアビブのベングリアオン国際空港に乗り入れた。まさにイスラエルの空が大きく世界に開かれたのである。

# 宗教の普遍性と世俗性

塩尻和子

えてみる。

## ● 神を主権者として

前号で、イスラーム社会の決定事項については、信徒一人ひとりの見解の一致が重要視されるといふことを述べた。つまりイスラーム共同体（ウンマ）の意思が社会の決定権を持っていることを、簡単に示した。それでは、それはどのような事態に対して、決定権を持っているのか、考

イスラーム社会では、その草創期から宗教教義を基盤とした政治性・社会性を構築し、宗教を政治的支配の大義名分として用いてきた。宗教の「公共性」こそが「神の正義」だと考えられてきた。イスラームでは、全知全能の絶対的な神を奉じるために、人間に対しては政治的次元でも文化的次元でも、神からの一方

的な命令として、片務契約へんむが課されるが、これは政治や社会においても主権者は神であることを示している。

後述するように、イスラームでは宗教運動の早い段階から、様々な要因と必要性によって、政治が宗教に從属するものとなった点が、イスラームの公共宗教としての特質となった。イスラーム社会の統治者たち、カリフも国王も、彼らがイスラーム法を遵守する限り、つまり神の命令に從う限りにおいて、神によって政治的権威として認められるのである。神の意思がその統治者から別の人物に移ったと、「信徒の共同体ウンマ」から判断されれば、その統治者は排除され、政權交代劇が起こる。この点がユダヤ教と異なる要因かもしれない。異論もあるかと思うが、ユダヤ教では多くの場合、神が望む人物には、幾多の紆余曲折を越えよ



# クツベ

## 越出水月

### ◆ 中東の伝統料理

ひきわり小麦の一種ブルグルの中に挽き肉を入れて作るクツベは、パレスチナ・アラブの食べ物でもあり、シリア、レバノン、イラク、クルド出身のユダヤ人の食べ物でもある。イラクからエジプトまで広く食べられており、地方によって作り方は異なる。いや、

そもそもクツベとは何なのかという定義が統一されていない。呼び名も「クツベ」「キツベ」「クーベ」「コベバ」と様々だが、形については「ボール状のもの」というのは一応共通しているらしい。エルサレムほどクツベの種類が豊富にある都市はないだろう。これもクツベ、あれもクツベと言われ、クツベとは何を指すのか分か

らなくなってしまうほどだ。

### ◆ 揚げクツベ

1番よく知られているのは、エルサレムやパレスチナでもよく食べられるシリアやレバノン発祥の揚げたバージョンだろう。ブルグルにひき肉を混ぜてよく練った皮に、甘い松の実とスパイスで味付けされた牛や羊のひき肉が包ま



○ ギャラリー「イスラエルの風」が贈る今月の一枚 ○



ネゲブ砂漠に咲くウジヤ・アイリス 撮影・平岡真一郎

雨季の終わる2月頃、褐色のネゲブ砂漠は緑に変化する。その中にひっそりと咲くアイリスを見つけた。聖書に登場するユダの王ウジヤは荒野に多くの水溜めを掘ったと伝えられ（歴下26:10）、その付近に生息するこの花をウジヤ・アイリスと呼ぶようになったと言われている。

★手漉き和紙にプリントした、絵画のような独特な風合いをもつ作品です★

サイズ

40×30cm ⇨16,500円

制作元：ギャラリー「イスラエルの風」  
〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-18-24

お問合せは  
ミルトスへ

好評の新刊

イスラエル人  
**ISRAELIの  
ビジネス文化**

A5判・並製 156頁 定価 1980円

オスナット・ラウトマン〔著〕  
新井均〔訳〕

次々とイノベーションを生み出すイスラエル人とはどういう人たちなのか。イスラエル人である著者がそのバックグラウンドやメンタリティーを丁寧に解説し、円滑な人間関係構築の方法を伝授する！



**デロイト・トーマツ 推薦!**

ファイナンシャルアドバイザー

次々とイノベーションを生み出すイスラエル人とはどういう人たちなのか。

イスラエル人である著者がそのバックグラウンドやメンタリティーを丁寧に解説し、円滑なビジネス環境構築の方法を伝授する。

イスラエル抜きにビジネスを語れない時代に  
**必携の1冊!**

三栄社 定価 1800円+税

**歌えないことりと  
いぬちの木**

B5判・上製 48頁 定価 2200円

マカベアリス〔刺しゅう・文〕

刺しゅうの温もりが、ことりたちと自然の物語を優しくつむぐ、マカベアリス作、刺しゅう絵本の第2弾！ 歌えないことりはある日、ふしぎないのちの木を発見し、仲間たちに伝えようとするのだが……。《刺しゅう図案2ページ付き》



**歌えないことりと  
いぬちの木**

刺しゅう・文 マカベアリス

雑誌 89063-02

みるくす

2023年2月号

第186号

発行 株式会社ミルトス

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町1-13-4

4階

定価650円(本体591円)